

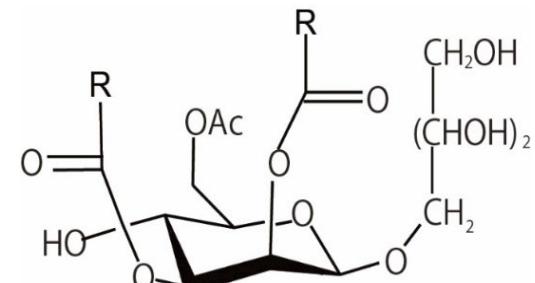
# Phytopresome™ MEL

# Phytopresome™ MEL

植物由来のバイオサーファクタント  
「マンノシルエリスリトールリピッド」と  
リン脂質の複合体です。

## MELの構造式

分子量:約650



### 表示名称

糖脂質(\*)、水添レシチン、グリセリン、BG

### INCI Name

GLYCOLIPIDS, HYDROGENATED LECITHIN, GLYCERIN,  
BUTYLENE GLYCOL

(\*)糖脂質:マンノシルエリスリトールリピッド(MEL)を表します。

## | 糖脂質 (MEL) とは・・・

MELは、オリーブ油などの植物原料から微生物が産生するバイオサーファクタント(\*1)の一種です。  
**セラミドに類似した機能**を有します。  
水に触れると角層脂質と類似したラメラ構造体を形成します。**角層状態を改善、バリア機能を向上**します(\*2)

性状	入り目	部外品	NMPA 登録有無
淡黄色～ 褐色高粘性液体	1kg 10kg	—	○

(\*1) バイオサーファクタント:

微生物体内の酵素反応で生成される優れた界面活性効果や生分解性などを有する天然の界面活性剤の総称。

(\*2) 北本大:バイオサーファクタントの多彩な機能とその応用, 薬学雑誌, 128, (5), 695-706, 2008.

## | 特長

- “Ready to Use” プロペラ攪拌するだけで簡単にナノ分散液を調製可能
- 透明性と経時安定性の高いナノ分散液が簡単に調製可能
- 脂溶性成分(アスタキサンチン・ルテインなど)配合のナノ分散液も調製可能
- MEL & 水添レシチンのラメラ液晶形成能により、皮膚バリア機能を改善
- MEL による肌荒れ状態の改善効果
- ヘアケアでは、ダメージを受けた毛髪のキューティクル状態、使用感を改善

## | ナノ分散液の調製プロセス

### Phytopresome MEL



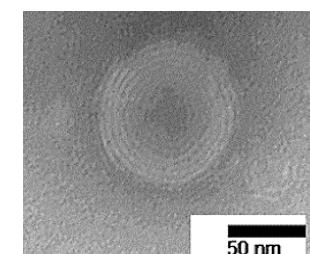
簡単調製

水へ添加しプロペラ攪拌するだけ  
(温度50~70°C)

### MELナノ分散液



### 電子顕微鏡写真(TEM)



# Phytopresome™ MEL

詳細データにつきましてはお問い合わせください。

[cosme.japan-info@nipponseika.com](mailto:cosme.japan-info@nipponseika.com)



\*本書記載事項を弊社に無断で複写、転用することを禁じます。  
記載事項につき、ご使用をお考への際には予め弊社にお問い合わせください。  
\*本資料に記載した事項は信頼できる実験事実に基づいて作成していますが、  
その正確性・完全性を当社が保証するものではありません。  
\*本書記載の内容は、予告なしに変更する場合があります。  
\*Phytopresomeは、日本精化株式会社の登録商標です。

ビューティケア分野



Instagram

